

深耶馬溪の野鳥

深耶馬溪は、麗谷、錦雲峽に代表される溪谷と、その周辺の豊かな森林に支えられて、多くの野鳥が生息しています。

【野鳥たちの四季】

春

SPRING

メジロやヤマガラ、エナガなどの留鳥たちが、繁殖をする為にペアーを作りはじめます。オスはメスを呼び、なわばりを確保する為に、目立つ場所ですえずりをします。

南の国から、オオルリやサンコウチョウ、ヤブサメなどの夏鳥が渡ってきて繁殖を始めます。



エナガ



錦雲峽



キセキレイ

夏

SUMMER

早朝の溪谷では、オオルリやキビタキ、センダイムシクイなどの美しい声がきかれ、遠くからはカッコー、ツツドリなどののどかな声も聞こえます。

巣立ったばかりの幼鳥をたくさん連れ、木から木へ移動しながらエサをとるシジュウカラやエナガなどが見られます。

秋

AUTUMN

繁殖を終えた夏鳥たちは、南へ移動を始め、徐々に姿が見えなくなります。サシバやハチクマなどは群を作り、渡りを行います。

夏鳥にかわって、シロハラやマヒワなどの冬鳥が姿を見せるようになります。



ルリビタキ



オオタカ

冬

WINTER

越冬の為に、オオタカやハイタカなどの猛禽類やルリビタキやツグミ、ミヤマホオジロなどが渡ってきます。ルリビタキやジョウビタキは単独で越冬し、ミヤマホオジロやキクイタダキなどは群を作ります。留鳥のシジュウカラやヤマガラ、エナガ、コゲラなどは、異なった種類が一緒に群を作ります。これを「カラの混群」と言います。



ミヤマホオジロ

[バードウォッチング]

深耶馬溪は、錦雲峽などの溪谷沿いや、ラシカ長尾林道などでバードウォッチングが楽しめます。

①鳥を見つける

木の枝の間をすばやく動く小鳥は、中々見つけにくいものです。鳴き声をたよりに鳥のいる方向を見定めると見つけやすくなります。また、鳥のいそうな所で、木や石に化けてじっと待っていると、鳥たちは意外と近くまでやってきます。

②鳥を見分ける

鳥の外見上の特徴の中でも、特に目立つものを「フィールドマーク」といいます。イカルの黄い大きな口ばしやジョウビタキの白い紋など、フィールドマークは鳥を見分けるのにとても役立ちます。

③鳥のくらしを見よう

鳥は一日の内の多くの時間をエサさがしに費やします。また、鳥の種類や時期によって、食べるエサが違います。どんなエサをどんな方法でとっているか観察してみましょう。



イカル



キジ



ヤマガラ

[野鳥のくらす自然環境]

植物は土の中の養分を吸収し、葉を繁らせます。この植物をチョウやガの幼虫やバッタなどが食べ、その昆虫をカマキリやトンボなどの肉食昆虫が食べます。これらの昆虫をヤマガラやコゲラなどの小鳥類がエサにし、この小鳥類をハイタカなどの猛禽類がエサにします。

生き物は、このような食物連鎖（食べる食べられるの関係）の中でバランスを保って生息しています。

土地が無くなったり、森林が切りはらわれたりすると、バランスがくずれ、この生態ピラミッドの上の方にいる生き物は生息できなくなります。たくさんの種類の野鳥が生息できる自然は、多種・多様な生物がくらすことのできる豊かな自然環境とすることができます。

